

米国アトランタが取り組む持続可能な都市圏政策: Atlanta BeltLine

Sustainable Urban Policy in Atlanta, USA : Atlanta BeltLine

大庭哲治 京都大学大学院工学研究科, 助教/ジョージア工科大学公共政策学部, 客員研究員

1. はじめに

米国南東部に位置するジョージア州の州都アトランタは、人口42万人、都市圏人口527万人の成長著しい都市である。1996年の夏季オリンピック開催を契機に、人口増加と経済発展が進み、大企業が本社を置く南部最大の商業・経済の中心地として、近年大きな役割を担っている。

米国の中でも代表的な自動車都市の1つとして挙げられるアトランタは、十字型に走る地下鉄と多数のバス路線によって公共交通が一定は整備されているものの、朝夕の深刻な交通渋滞とスプロール開発による都市圏の拡大が喫緊の課題となっている。そのような中、都心部への過剰な自動車の乗り入れによる社会的損失を縮小し、持続可能な都市構造の形成を目指す新たな都市圏政策が現在進行形で展開されている。それがAtlanta BeltLineである。

2. Atlanta BeltLineの概要

Atlanta BeltLine とは、都心部を囲む全長約35kmに及ぶ低未利用の鉄道線路を活用して、周辺の工業地域との土地利用混合による都市再開発と新しい公共交通路線の整備による公共交通指向型都市開発 (TOD) を構想したものである。また、歩行者や自転車利用者に優しい遊歩道や緑地公園といった公共空間の整備により、環境保全と住民の健康福祉向上も期待されており、エメラルドネックレスとも称されている。

この構想は、ジョージア工科大学の修了生Ryan Gravelが、1999年に修士論文のテーマに取り上げ、その内容を複数の地元有力者に送付したことに端を発している。2004年のThe Trust for Public Landによる研究レポートが牽引役となり、当時の市長が投資調査を実施、2005年にはAtlanta BeltLineの再開発計画と Tax Allocation District (TAD) の指定がアトランタ市議会をはじめとする関連機関で承認、2006年には予算を伴う5ヵ年計画がアトランタ市議会で承認され、構想から具体的な政策に移行する。また、この都市圏政策の管理運営を目的に設立されたAtlanta BeltLine, Inc.が、関係主体との連携のもと、PIを幾度となく実施し、公園や遊歩道の整備を進めており、現在は、マスタープランに基づいて周辺の商業空間や住宅空間も開発されている。さらに、新しい公共交通整備として、2010年に米国運輸省がアトランタ都心部における新しい路面電車システムの整備に予算をつけている。

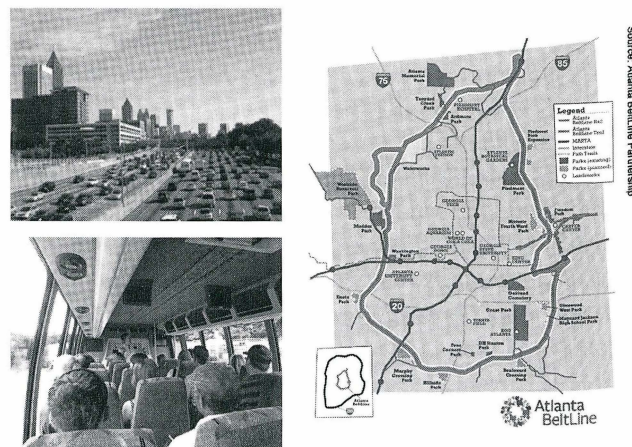
3. アトランタンによる草の根活動と都市圏政策の今後

Atlanta BeltLine, Inc.では、アトランタ市民 (アトランタン) による多くのボランティアが草の根活動を積極的に展開している。四半期ごとに進捗状況が詳細に報告される上、各地区で幾度となく会議、勉強会、イベントが開催されており、パブリックアートにも力が注がれている。また、バスで現地を回りながら学ぶツアーも定期的に開催され、これまでに数千人にのぼるアトランタンが参加している。人気で予約が困難なこのツアーに私も参加したが、約3時間でAtlanta BeltLineのコンセプトや経緯、現状を効率良く学ぶことができる。このようにハードとソフトの両面で都市圏政策を牽引している。

本年7月31日、Transportation Investment Act (TIA) に基づき、1%の物品税を交通輸送改良整備に充てる住民投票がアトランタ都市圏で実施された。承認されれば新たな財源が確保され、新しい路面電車システムの一部区間の整備も着手される予定であったが、投票結果は“NO”であった。この都市圏政策の恩恵をアトランタンが享受するまでには、まだ長い時間と多くの労力を要することが予想される。都市の変容に関わる都市圏政策では、利害関係が大きく交錯するため、住民個々の意識と責任が不可欠である。自動車都市アトランタが取り組む、この持続可能な都市圏政策の今後の注目される。

参考文献

- ・Atlanta BeltLine: <http://www.beltline.org/>
- ・Davidson, E. (2011), The Atlanta BeltLine: A Green Future, Public Roads, Vol.75 No.2, pp.20-27.



アトランタ都心部の交通渋滞 (左上), ツアーの様子 (左下), Atlanta BeltLineの概要図 (右)